



一般社団法人 Tokyo Professional Engineer Inc.

東京技術士会

PEIT Letter

No.07 (2012.4.15)

会長の
時流散歩

平成24年度活動方針

会長 二宮 孝夫

今日は一般社団法人東京技術士会の平成24年度の活動方針をお知らせします。

先ずは昨年3月11日の東日本大震災の被災地の復旧が、被災者の方々を中心に有意ある人々や公共体の努力で日々進められている事に敬意を表します。更に今なお原発事故の影響で愛する故郷を離れて生活する人々や、農業を始めとする生業を放棄せざる

を得ない方々には、技術で生きる集団として痛恨の極みであることを申し上げます。

一般社団法人東京技術士会は未だ少数技術士の集団ですが、裾野に存在する広範な科学技術分野の技術士の参集を念頭において、社会が求める事柄に対応していく事を目指しています。

それを具体化する為に会員である技術士は、自らが行いたい技術士としてのサービスを「SIG」(Special Interest Group, 特別目的グループ)を構成して、東京技術士会の法人格の傘の下での活動をとおしたビジネスとして実行する事です。平成24年度は右の主な具体的SIG事業目標を策定し、積極的な活動を実行していきます。

行政・各種団体・中小企業経営者の方々にはご興味あるSIGのご活用をお願いします。最後に東京近辺に在住される技術士の方々の当会へのご参加をお待ちしています。



SIG	平成24年度の活動方針・目標	リーダー
医療機器の開発・製造支援グループ(MEDEM)	専門展示会への出展や自主セミナーの開催を企画・実施。とくに医療機器の厚生労働省製造承認取得の指導をします。	岩崎賢二
官公需情報センター(KIC)	公共発注で会員が対応可能な仕事情報をいち早く会員にお知らせすると共に、必要書類作成勉強会を開催する。	二宮孝夫
技術評価センター(TEC)	クライアント(官公庁・企業等)のご要望を満足する専門家の評価主体で技術評価を実施。	平野輝美
子ども理科クラブ(CSC)	新たな学習指導要領を先取りして、ラーニングに注目した協調学習(ジグソー法)の展開。CoREF(大学発教育コンソーシアム推進機構)とも連携し東京を中心に実践	永田一良
システム自動開発ツール導入支援センター(SADT)	自動開発ツールGeneXUS、クラウド、オープンソース、BIなど中小企業様のIT全般の導入をご支援。	木村稔
知的資産経営支援センター(IAMS)	知的資産経営の導入支援を行う。本年度は、セミナー・講習会を開催する。	深澤潔
中小企業支援センター(SSC)	中小企業支援ネットワーク強化事業の支援機関をさらに充実し専門家を派遣してご支援します。	武田悦男
農業支援センター(ASC)	植物野菜工場の技術ノウハウの蓄積とモデル案画書の作成及びコーディネータとなることを目標とする。	渡辺孫也
表面処理技術研究会(SPTG)	中小企業ネットワークを構築し、機能性表面形成技術の開発と共有を進める。機能性表面形成を通じて価値創造と価値最大化を進める。	平野輝美
物流効率化支援センター(LSC)	工場内物流の計画・診断・改善、物流センターの計画・診断・改善、グローバルサプライチェーンの導入、物流人財の育成などのご支援。	山根幹大

お知らせと
カレンダー

▶ 東京技術士会に興味のあるお客様と業務相談のあるお客様

東京技術士会

検索

でアクセスしてください。

▶ 入会問合せ、入会申込みをなされる方、上記と同様にHPにアクセスしてください。

▶ PEIT会員向け定例会議情報(毎回13:00~17:00港区生涯学習センター)。4月25日(水)、5月23日(水)、6月27日(水)、以降、第4水曜日を予定しております。皆様ご参集ください。

『構造化テクニカルライティングのすゝめ』技術士に限らず、技術者の多くにとって、報告書を作成することは日常的な業務でしょう。

そして、わかりやすく、読みやすく、適切な報告書を作成するための、テクニカルライティングをまとめました。特に、構造化とパラグラフを活用することを提示しております。皆様、ご活用ください。【秋元、西角井、平野著、有限会社納諾相研究所出版プロジェクト、2100円(税込み)】



東京技術士会ではSIG活動の一環として、東京都立産業技術研究センターを見学させて頂きました。本施設は、企業の皆様や会員諸氏に有益な施設だと思います。ご紹介させて頂きます。ぜひご活用頂きたく思います。

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(都産技研)は、都内中小企業の振興を図り、都民生活の向上に役立てるよう、産業技術に関する試験、研究、技術相談、実地技術支援、講習会などの技術支援を行っています。

平成23年10月に「ものづくり産業の総合的な支援拠点」として新しい本部を開設し、従来の技術支援に加え、新たな設備を導入しお客様への支援サービスを拡充しました。本部と多摩テクノプラザ、城東支所、墨田支所、城南支所の5拠点で技術支援を行っています。

●3セクター

新本部の特徴のひとつは3つのセクターです。「高度分析開発センター」では、核磁気共鳴分析装置をはじめとする高機能な設備を集中配置し、素材や部品段階から、高度な技術開発、製品開発支援を行うとともに、これらの課題を解決する研究開発を進めます。



核磁気共鳴分析装置

「システムデザインセンター」では、製品の意匠に加え、商品企画から機能、構造、安全性設計もデザインととらえたものづくりを総合的に支援します。企画、マーケティングから販売促進を支援し、創作実験ギャラリーを活用したデザイン実践セミナー等を開催しています。また、3次元CAD、高速造形装置などデジタルエンジニアリングを活用し製品設計・解析・試作等を支援します。

「実証試験センター」では、安全で信頼性の高い製品開発を支援するため、振動、耐ノイズ、温湿度、めつきや塗装の腐食劣化などの評価試験機を集約しました。環境試験関係の相談から依



左：創作実験ギャラリー

右：高速造形機による試作品



恒温恒湿槽

頼試験、機器利用までの要望に、ワンストップで対応します。また、電気(直流・低周波)、温度(熱電対)の国際規格ISO/IEC17025に準拠した品質システムに基づいた電気・温度試験や製品・材料の強度試験も実施しています。

●新規産業育成と都産技研ブランド試験

今後の成長が期待される産業の育成を図るために、「環境・省エネルギー」「EMC・半導体」「メカトロニクス」「バイオ応用」の技術分野に対し集中的に支援を行います。また、都産技研の特徴的な技術分野である音響、照明、高電圧、非破壊透視、ガラス技術の基盤技術を「都産技研ブランド試験」として強化していきます。

都産技研の本部では、24時間利用可能な「製品開発支援ラボ」の設置、中小企業の交流支援の場である「東京イノベーションハブ」を活用した产学公連携事業にも取り組んでいます。中小企業の発展に貢献するために、今後もさまざまな技術支援を拡充していきます。

本部開設後、初めての施設公開を4月20日(金)～21日(土)に開催します。ぜひこの機会に都産技研にお越しください。

東京テクノロジー、発進!
～ものづくりイノベーションの総合支援基地～

本部 施設公開

入場無料
事前申込不要

4月20日(金)・21日(土) 10:00～17:30
(21日は17:00まで)

【特別講演】 4月20日(金) 13:30～15:00
大谷流「元気の出る企業づくり」
～感じて、興味を持って、動く人づくり～
人材活性プロデューサー(元吉本興業プロデューサー)
大谷 由里子 氏

実演・展示

- ・落雷実験
- ・各種設備のデモ
- ・見学ミニツアー 他

ものづくり体験

- ・ペットボトル掃除機製作
- ・リサイクルガラスを利用した観葉植物植え込み 他

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター



〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10 TEL 03-5530-2111(代)
URL <http://www.iri-tokyo.jp>

お問い合わせ先

下記方法で[オフィシャル・サイト:一般社団法人 東京技術士会]にアクセスし、[お問い合わせ]のボタンをクリックして通信文をご記入ください。

東京技術士会 **検索**

おくづけ

PEIT Letter Vol. 07

発行年月 2012年4月15日

発行者 一般社団法人東京技術士会

<http://www.tokyo-gijutsushikai.jp/index.htm>

年4回発行 季刊 定価50円

